

ゆうき市議会だより

第187号

平成28年8月1日



暑中お見舞い申し上げます



光を放つホタル



ホタル祭りお囃子演奏 (7月2日)

第2回定例会

6月15日～6月24日

平成28年結城市議会第2回定例会は、6月15日に招集され、24日までの10日間にかわって開かれ、24日の最終日には、副議長の選挙、議会運営委員会の委員の選任が行われました。

初日には、地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分をはじめ、条例の一部改正や選任など市長提出案件7件が上程されました。また、先議（定例会の冒頭で議決を行うこと）が必要な案件1件（報告第2号）については、初日の審議を終えて原案のとおり承認となり、その他の案件については、各常任委員会に審査が付託されました。

会期中には、一般質問の2日間をはじめ、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会ごとにそれぞれ1日ずつ審査が行われました。

最終日には、各委員会へ付託されていた案件の審査報告と、追加案件で議員提出案件2件が上程されました。審議の結果、全て原案のとおり可決されました。

副議長 早瀬 悦弘 就任

議案質疑

◆報告第2号（専決処分）（承認）

Q 国保税と後期高齢者に係る賦課限度額が、それぞれ引き上げとなるが、これまでの引き上げの状況について

A 26年度、27年度、28年度と3年続けて限度額を引き上げてございます。

◆平成28年度結城市一般会計補正予算（第1号）

Q 一般会計補正予算書の歳入で寄附金100万円計上されている。その寄附金に

ついて説明をお願いします
A この寄附金は、関東道路株式会社様から、教育の振興を目的として、ご寄附いただいたものです。同社様からは、平成23年度以降、継続してご寄附いただいております。

Q 医療福祉系大学誘致推進事業費、基礎調査委託料の内容についてと現在の取り組み状況を伺いたい
A 委託内容は、医療福祉系大学誘致の基礎資料とするため、生徒の進学ニーズや病院等の雇用ニーズを調査

するものです。現在は、大学誘致の方向性を検討するため、先進地事例や近県看護系学部の状況を調査しております。

《選任関係》

◆結城市固定資産評価審査委員会の委員の選任について

結城市固定資産評価審査委員の選任に同意しました。

小島 浩一 氏



副議長 早瀬 悦弘

副議長就任あいさつ

6月定例議会におきまして、議員各位からご推挙をいただき、副議長に就任させていただくことになり、私自身この上ない光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、現在我が国は、少子高齢化が進行し、本格的な人口減少社会が到来しようとしております。政府も人口減少に歯止めをかけ、地域間の格差を是正するため、「地方創生」や「一億総活躍社会」などの政策を推進しており、本市においても、子育て支援や地域資源を生かした雇用対策、定住促進等に取り組んでおります。

こうした中、市民の皆様から負託を受けた議会の副議長として、皆様の声を十分受け止め、地域の課題を解決し、「安心・安全に暮らせる豊かなまちづくり」を進めるため、微力ではありますが、誠心誠意努めてまいります。皆様方のご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◆各委員会の構成◆

副議長の交代にともない、議会運営委員会と議会情報推進委員会の構成が変わりました。

議会運営委員会

（7名）

- ◎大木 作次
- 稲葉 里子
- 黒川 充夫
- 秋元 昇
- 船橋 清
- 孝井 恒一
- 平塚 明

議会情報推進委員会

（6名）

- ◎中田 松雄
- 早瀬 悦弘
- 大里 克友
- 大橋 康則
- 佐藤 仁
- 平塚 明

第2回定例会における議案の審議結果一覧

議案番号	議案名	結果
報告第2号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	承認
議案第44号	平成28年度結城市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第45号	平成28年度結城市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第46号	結城市情報公開条例の一部を改正する条例について	可決
議案第47号	結城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第48号	工事請負変更契約の締結について	可決

第2回定例会日程

日	議案
（6月）	
7日	議会運営委員会 本会議
15日	開会・会期決定。議案上程。議案質疑。報告第2号、討論・採決。議案を各所管委員会に付託。 本会議
16日	一般質問（5人） 本会議
17日	本会議
20日	一般質問（5人） 常任委員会 （総務委員会）
21日	常任委員会 （産業・建設委員会）
22日	常任委員会 （教育・福祉委員会） 議会運営委員会 本会議
23日	各常任委員長への報告、報告に対する質疑。討論・採決。選挙1件、選任1件追加。閉会。
24日	

★議会日誌

日	議案
（4月）	
15日	県西市議会議長会定例会
19日	県市議会議長会定例会
21日	全員協議会 調査特別委員会
26日	調査特別委員会
27日	関東市議会議長会定期総会
（5月）	
19日	全員協議会
26日	調査特別委員会
31日	全国市議会議長会定期総会
（6月）	
7日	議会運営委員会
15日	第2回定例会 （第2回定例会日程に掲載）
15日	議会情報推進委員会
（7月）	
5日	県市議会議長会視察研修会
6日	議会情報推進委員会
7日	議会情報推進委員会
20日	全員協議会 調査特別委員会

ケーブルテレビで生中継をしています。

結城市議会では、議場（市役所本庁舎3階）で行われている議会中の映像を、ケーブルテレビにて生中継をしています。

次回、平成28年第3回定例会の放送は、9月7日、8日、9日、23日の計4回を予定しています。

- 開会日 : 9月7日（水）
- 放送内容 : 開会日（7日）・一般質問（8日、9日）・閉会日（23日）
- 放送開始予定時間 : 午前10時

※チャンネルは、地上デジタル「112」



大里 克友 議員

公共施設の耐震化について

全国の防災拠点となっている公的施設19万棟のうち88.3%が耐震基準を満たしていますが、自治体などの庁舎は、74.8%にとどまっています。震災のたびに、庁舎を含めて公共施設の耐震化の重要性は、指摘されますが、市の現状と今後の取り組みについてお伺いします

市長公室長 耐震診断の結果、第1庁舎西側と第2庁舎は非常に危険な状態であることが確認され、早急な対策が必要であることから、耐震補強工事を行うことといたしました。現在、入札の手続きを行っており、本年度内には完成の見込みでありまして、市民の皆様が安心して庁舎を利用していただけよう努めてまいります。

小中一貫教育について

小学校と中学校の9年間の義務教育を一貫して行う小中一貫義務教育学校が4月から制度化され茨城県でも水戸、つくばで2校誕生しました。小中一貫教育や義務教育学校は、広がりを見せていると思われませんが、本市では小中学校でどのような連携をしているのか？また、小中一貫教育に対する考えをお伺いします

教育長 各中学校区における、全職員による小中連携協議会の開催や中学進学時の情報交換会、中学校教諭による小学校出前授業、中学1年生が主体となって行う6年生向けの入学説明会、小中合同によるあいさつ運動など積極的に連携活動を進めております。小中一貫教育につきましては、小中連携が良好に機能していると認識していることから、引き続き各中学校区の連携に努めるとともに、小中一貫については、本市の実情と先進事例を注視して、研究してまいりたいと考えております。

他に、災害時のBCP（事業継続計画）について、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）について、学校評議員制度について、学校運営協議会の設置についての質問を行いました。

一般質問



會澤 久男 議員

防災行政無線について

現在の設置状況と今後の進め方について聞きたい

市民生活部長 市役所に放送を発信するための親局設備一式と、結城消防署に夜間対応に備え親局と同じ操作ができる、遠隔制御装置を設置しております。拡声子局は、市内合計58箇所設置済であります。防災行政無線が聞こえない・聞き取りづらいというご意見もいただいている状況の地域に関しては、子局のスピーカーの向きや音量を調整するなどして、解消を図ってまいります。また、放送内容を再度確認できる電話応答サービスやメール配信サービスなど市民の皆様にご利用いただけるように、啓発を行ってまいります。今後の運用方法については、防災情報はもちろん、市民の皆様に必要な行政情報を発信してまいります。

結城第一工業団地上山川北部地区について

現在の進捗状況についてお伺いします

産業経済部長 現在までに、整備手法については、地権者や企業の多様な要望に応えられること、市の財政負担を抑えつつ、民間のノウハウや資金を活用しながら整備を進めることができることから、土地区画整理事業に決定したところです。地権者との合意形成については、平成27年6月に整備構想に関する意向調査を実施した結果、99%の方から整備構想に対し、賛同を得ることができました。今後は、土地区画整理事業に決定したこと、地権者から約99%の賛同を得られていること、計画的市街地開発の見通しがあること、地区内農家の営農継続への影響がないことなどを資料としてまとめ、県関係機関の支援のもと、早期に関東農政局との協議を完了し、平成29年度中の市街化区域編入の都市計画決定、平成30年度に事業認可の取得を経て、事業に着手する方向で進めてまいりたい。現在までに企業数社から上山川北部地区への立地について問い合わせが寄せられており、こうした企業との接点を大切に、事業着手までに用地売買の予約をいただけるよう、企業誘致にも積極的に取り組んでまいります。



湯本 文夫 議員

医療福祉系大学誘致の今後の取り組み

理事兼政策監 大学誘致を進めるにあたり、大学のあり方や規模、候補地の選定などについて、そのニーズの把握の調査を行い、事業推進のための基礎資料を作成し方向性を定める必要があると考えております。

ふるさと納税の在り方及びPR戦略について

市長公室長 4月より契約管財課に窓口の一本化を図り、歳入の確保策と位置づけ、7月から内容を充実させて再スタートし、下半期、特に年末に向けて積極的にPRしてまいります。

市長 新しいふるさと結城応援寄附金がスタートいたします。PR体制づくりにつきましては、見直し効果を検証しながら、必要に応じ検討してまいります。

空き家等対策特別措置法に基づく事業の推進を

市民生活部長 現在、生活環境課において、データベースを作成し、空き家の位置や所有者情報などを管理しております。固定資産税の課税情報の内容利用が空き家等対策に関する特別措置法で認められているため、送付先などを把握する業務に限り、利用しております。

市長 空き家問題は、様々な課において、各法令等が関係することから、手続き上の問題等を研究しながら、機動力ある組織づくりを検討してまいります。

福祉避難所の受入体制及び民間施設との協定

保健福祉部長 福祉避難所の役割を考えますと民間の介護福祉施設や障害者施設など、施設利用や人的支援といった形での協定締結を推進してまいります。

健康づくりとしての、まちなか保健室の設置

保健福祉部長 健康セルフチェック器機等を配置した気軽に健康相談ができる拠点となるような場所の設定を検討してまいります。



佐藤 仁 議員

地域資源を活かした地方創生について

結城紬を中心とした見世蔵等の北部地区の観光はもとより、基幹産業である農業を中心とした、6次化・12次化について取り組んで行くべきだ！

産業経済部長 本市は農業が盛んであり、観光客を対象とした農業体験や生産される農産物を加工した地域特産品の開発等による地域産業の新たな創出が可能であると思われれます。観光振興による人のにぎわいと地域経済の活性化にとどまらず、地域産業の新たな創出も視野に入れながら、地方創生に努めます。

市長 地方創生についてですが、人口減少を最小限にする



ために、事業の重点化を図っていく必要があり、「結城市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げ、その実現には、行政に限らず様々な分野の方々に、主体的に関わって、民間からの人材登用は、専門的な人材を活用することは、有効な手段であると考えますので、今後、検討をします。

マイナンバー導入でコンビニ証明書交付

行政を効率化し、国民の利便性を高め公平・公正な社会の実現をする社会基盤として平成28年1月から実施されたマイナンバーですが、現況と今後マイナンバーを活かしたコンビニ証明書交付を含めた行政体制づくりについて

市民生活部長 オンラインバンキングをはじめ、各種の民間オンライン取引にも利用可能になるなど多くのメリットを享受できる見込みです。

市長 コンビニ交付については、今後、サービスカウンターの利用状況やマイナンバーカードの交付状況などを見極めながら、住民の利便性と効率性、費用対効果等を十分に検討したうえで判断をしていきたいと考えております。





大橋 康則 議員

協働のまちづくりの着実な推進を!

指針の中にあるように市民は「地域住民の一人として地域社会に関心を持ち、自治活動や市民活動への理解と連携を深め、地域の活動に積極的に協力すること。」行政は「市民がまちづくり活動を行いやすい環境づくりや支援体制の整備に努めるとともに、市政に関わる情報を提供して市民との情報の共有を図ること。」「行政職員は、協働をコーディネートする能力を高めることに加え地域のまちづくりに積極的に参画すること。」以上の意識改革を!

市長公室長 市民が安心して豊かに暮らせるために、地域における様々な主体が、役割を認識して、課題解決に取り組んでいく必要があります、そのために協働のまちづくりを、より一層推進していく。

おじいちゃんおばあちゃんの孫育て支援を!

子育てに関するギャップを埋めサポートがしやすいように作られている「祖父母手帳」を導入し祖父母世代の子育ての支援促進をお願いしたい

保健福祉部長 コミュニティの形成・世代間の交流の大切や重要性を踏まえ、子育て支援を行ううえで、家族力、地域力の回復は意義があると認識している。

障がい者スポーツへの相互理解と推進を!

パラリンピックを契機に、本来の目的である相互理解を進めノーマライゼーション社会を形成して頂きたい

保健福祉部長 障害者スポーツの中には障害のない子どもや高齢者が楽しめ、現在あるスポーツ施設などを活用して行える障害者スポーツの体験会など、障害のある人とない人がスポーツを通して交流することのできる機会を設けるなどして、障害者スポーツの認知度の向上や理解促進を図ることが重要である。

一般質問



稲葉 里子 議員

結城市立公民館整備事業について

公民館の耐震診断及び構造調査の結果について

教育部長 耐震診断の結果は、1階と2階は、IS値が0.75未満であり、耐震性能が確保されていないと判定をうけた。また、構造調査の結果、3階の柱の横ひびが鉄筋の内側まで入り込んでいることから、この2つの調査結果を総合的に考えあわせると、今後、大規模地震が発生した場合には、公民館の安全性に大きな課題があると考えている。

震度5を超える地震が起きた場合、公民館の3階部分が倒壊する危険性があると調査結果が出ているのに利用者に知らせていない。市民の安全を十分に確保するためには公民館の使用を停止すべきではないか

教育部長 市民や利用者の安全を第一に考え、公民館

の利用停止も含めて、今後の対応について検討している。議員質問の公民館を使用停止とする場合の代替施設としては、公民館北部分館や市民情報センター、市民文化センター、駅前分庁舎等コミュニティ施設も検討している。

耐震性に重大なリスクを抱える公民館の建て替えの実施と建て替え期間中の代替施設の確保を要望事項として市民4,068名の署名者名簿を添えて市長に提出されています。また、公民館の利用団体、地域代表、社会教育団体関係等からなる16名の公民館施設整備検討委員会によって7回会議を行い公民館施設整備基本計画(案)を承認しています。多くの市民の民意をしっかりと捉えて公民館整備事業の再検討をすすめてほしいと思います

市長 結城市立公民館は、本市の生涯学習の拠点であり、年間約5万6千人の市民が利用している貴重な施設であると認識している。現在、建物の老朽化とともに、耐震不足や柱の横ひびの発生など、建物の安全性に大きな課題が生じていることから、市民の利用者の安全を最優先に考慮し、その必要性とともに、今後の対応について早急に決定をまいります。



平塚 明 議員

姉妹都市、友好都市、水野家交流について

ベルギー王国メッヘレン市とは20周年、タイ王国メイサイ市とは来年で5周年、長井市とは33周年、福井市とは14周年、小山市とは2年の交流となっているが、茨城国体、東京オリンピックを控え今後の取り組みについて

市長公室長 行政に限らず市民間の交流を促進します。茨城国体、オリンピックも開催されます。一人でも多く結城市を訪れて結城市の良さに触れて頂くように取り組みたい。

市の公用車の交通安全について

市の公用車の保有台数についてと職員の安全運転に対する研修について

市長公室長 市の公用車は大型特殊11台、普通乗用車22台、バス5台、トラック29台、軽自動車52台、トラクター2台、バイク1台の合計122台です。公用車の事故防止と安全運転の意識が上がるよう研修を実施します。

災害時の備蓄倉庫について

個人宅や自治会に災害備蓄倉庫を設置するため購入助成制度を設けては

市民生活部長 自主防災組織に対し、資機材倉庫や備蓄食糧、各種資機材等の購入に補助している。

北部市街地の蔵造りについて

蔵造りの建物は市の観光や経済に大きな効果をもたらす。特に築嶋邸の見世蔵などは最たる建物ではないでしょうか。保存利活用を伺いたい。蔵美館は「お手杵の檜」の人気上昇で来館者が増えているが

産業経済部長 蔵美館は歴史的な蔵を再生し町の魅力向上と地域活性化に貢献したことで、平成28年度街づくり月間街づくり功労者国交大臣表彰を受賞しました。市長 蔵の保存活用につきましては、個人の所有財産でありますので、慎重に検討してまいります。



平 陽子 議員

公務における非正規雇用について

県内市町村職員の非正規雇用の占める割合が4割になり、10年間で14%増えています。正規と非正規職員の賃金格差や様々な差別をやめるべきだと考えます。また、非正規が増えることで行政サービスの質の低下が指摘されているが、今後の取り組みについて伺いたい。また、自治体が発注する業務で働く労働者が低賃金しか支払われない「官製ワーキングプア」の解消を目指す公契約条例がありますが、取り組み状況について伺いたい

市長公室長 非正規職員の雇用につきましては、専門的な資格を必要とする業務や臨時的な業務などに対応するため、「結城市嘱託職員雇用等管理規程」及び「結城市臨時職員等雇用管理規程」の適正な運用を図り、

正職員と嘱託職員等の、バランスのとれた人員配置により、業務効率及び、住民サービスの向上に努めてまいります。また、公契約条例は制定しておりませんが、入札において、予定価格の決定に際し一定割合をカットする、「歩切り」の廃止や、工事内訳書の添付により、競争原理を保ちつつも不当に安い価格での契約をなくすよう努めており、中間前払い金の導入や前払金の対象額の引き下げを実施し、適正な賃金が支払われるよう事業者の資金調達の円滑化に配慮するなど公契約条例の趣旨に沿った取り組みを実施しています。

障がい者への配慮及び理解の促進について

平成28年4月1日からスタートした、障害者差別解消法、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」は障害のある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会を目指しています。今後の取り組みについて伺いたい

市長 合理的配慮の提供をはじめ、法の円滑な施行に向けた取り組みを着実に進めているところであります。今後においても、市が積極的に障害者差別解消に取り組む姿勢を示すことにより、社会に広く普及していくものと考えております。



土田 構治 議員

財政運営の考え方について

以前の質問で私は義務的経費の伸びは増加していく傾向にあり経常収支比率の改善は厳しいと申し上げました。各施策等を踏まえ財政運営についての考え方をお聞かせください

市長 財政運営の考え方については、多様化・高度化する住民ニーズに応えつつ様々な行政課題に柔軟に対応していくために、複眼的、多角的な視点に立ち、多種多様な施策に配慮した財政運営を行っていくことが大切であると考えます。今後も新規事業と既存事業、あるいは投資的経費と義務的経費のバランスに配慮しながら、創意工夫を図り、推進すべき施策の費用対効果や優先度を考慮した財政支出を行い、持続可能で健全な財政運営に努めてまいります。

医療福祉系大学誘致について

誘致の判断材料はどのようなものか伺いたい

市長公室長 高齢者の増加に伴い、看護師などの専門職が今後益々不足すると考えられている中で、それを目指す高校生のニーズはあるのか、また、雇用する側のニーズの状況を把握することが重要であると考えております。

農業の振興について

農業者の確保等を含めた支援体制を伺いたい

産業経済部長 地域の担い手となる農業者の確保については、農業が職業として、魅力とやりがいのあるものとなるよう支援を行い、農業者・後継者の確保に努めます。現在は、農業経営の目標として、年間農業所得580万円、労働時間2,000時間を目指し、農業に取り組む認定農業者を中心に、経営体育成支援事業、融資に対する利子助成事業などに取り組んでいます。また、生産性効率の向上については、高性能機械の導入支援や茨城県農地中間管理機構を活用した農地集積等の支援を行っております。特に農地集積については、今後積極的に取り組んでまいりたいと考えます。



黒川 充夫 議員

「平成28年熊本地震」から学ぶ対策について

今回の地震で避難所が使用できなかった原因に、窓ガラスの割れや天井からの落下物等が挙げられているが、本市の避難所の安全対策の現状について伺いたい

市民生活部長 窓ガラスの安全対策は、体育館や教室など施設の一部を強化ガラスや網入りガラスを使用したり、フィルムを貼るなどの飛散防止等の対策を講じている施設が、26施設中7施設で、施設全体の窓ガラスに安全対策を講じているのは、結城市健康増進センターの1施設のみとなっております。

駅前自転車駐輪場の利用について

駅前自転車駐輪場の定期利用料金が、1箇月単位ですが、他市のように3・6箇月単位にできないのか

市民生活部長 近隣の定期利用の月単位の状況は、小山市が1箇月、6箇月、1年で、筑西市が1箇月、3箇月、6箇月です。定期利用の期間の多様化に関しては、条例の改正等も伴う内容なので、定期利用者等からの要望や管理者等からの意見等を参考に検討してまいります。



▲駅前北口駐輪場

食品ロス削減に向けての取り組みについて

食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」は、家庭やスーパー、ホテル・レストランなどから見受けられるが、削減に向けた取り組みについて伺いたい

市民生活部長 家庭から出る生ごみを削減するため、生ごみ減量化器具設置補助金を制定しており、過去10年間で125基に対し、補助金を交付しております。また、議員ご指摘の「30・10運動」や「フードバンク」につきましても、全国的に活動が広がっておりますので、先進地の活動内容等を調査検討するとともに、本市の環境衛生協議会の総会や市民講座、市の広報誌等を活用し、食品ロスの削減に努めてまいります。

他に、結城市シルバー人材センターについての質問を行いました。

委員会活動

総務委員会

総務委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、6月20日に開催されました。午前中に水海道コミュニティーセンターを現地調査してまいりました。水海道コミュニティーセンターは、平成26年に自治会から市長へ要望、また、財源となる一般財団法人自治総合センターへ茨城県を経由して希望調書を提出しております。平成27年度結城市コミュニティー活動推進事業補助金を受け、平成27年11月から建設工事を開始、平成28年3月に工事完了し、現在、新しい集会所として使用しているとの説明を受けました。午後の審査では、本委員会に付託されました平成28年度結城市一般会計補正予算（第1号）のうち所管事項分、結城市情報公開条例の一部を改正する条例についての議案2件、結城市固定資産評価審査委員会の委員の選任についての選任1件、計3件について審査されました。なお、審査の結果、付託された議案2件、選任1件については全て原案のとおり可決されました。



▲水海道コミュニティーセンター

産業・建設委員会

産業・建設委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、6月21日に開催されました。午前中に伝統工芸コミュニティーセンター及び絹ふれあいの郷北側圃場田んぼアートを現地調査してまいりました。伝統工芸コミュニティーセンターは、「結城紬の総合案内所（情報発信拠点）」と位置付けられ、地方創生加速化交付金により建物内部のリニューアルが実施されます。しかしながら、建物外部についても観光施設として成立するよう年次計画を立てたうえで可能な限り改修することが望まれるとの説明を受けました。午後の審査では、本委員会に付託されました平成28年度結城市一般会計補正予算（第1号）のうち所管事項分、平成28年度結城市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）、工事請負変更契約の締結についての議案3件について審査されました。なお、審査の結果、付託された議案3件については全て原案のとおり可決されました。



▲伝統工芸コミュニティーセンター

教育・福祉委員会

教育・福祉委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、6月22日に開催しました。午前中に結城西小学校児童クラブ新築工事及びゆうき図書館の読書通帳を現地調査してまいりました。結城西小学校児童クラブは、小学校の余裕教室を利用していましたが、児童数の増加に伴い教室の確保が困難となるために新設した施設について説明を受けました。また読書通帳は、常陽銀行から創立80周年記念事業により寄贈を受けたもので、借りた本の履歴を記帳するシステムについて説明を受けた後、記帳の体験も行いました。午後からの審査は、本委員会に付託された平成28年度結城市一般会計補正予算（第1号）のうち所管事項分及び結城市放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の2件について行われ、審査の結果、付託されました議案2件については、全て原案のとおり可決されました。



▲結城西小学校児童クラブ

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会ならびに茨城県市議会議長会より、議員25年として孝井恒一議員に、市政の発展に尽くされたことに対し、表彰状が授与されました。



孝井 恒一
議 員

議会を傍聴しませんか

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。

詳しいことは、議会事務局まで
(0296-32-1111 内線304・305)

平成28年第3回定例会のお知らせ

結城市議会
次回定例会の開催予定

9月 7日 本会議（開会）
8日・9日 一般質問
12日・13日・14日 常任委員会
15日・16日・20日 決算特別委員会
23日 本会議（閉会）
(日程が変更になる場合もあります。)

結城市議会先進地視察報告

○新庁舎建設及び現庁舎跡地利用計画
に関する調査特別委員会

期日 5月26日
調査地 茨城県坂東市
茨城県稲敷市
目的 新庁舎建設について
跡地利用について



ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、CD版の発行や対面朗読を行っています。
ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

★編集後記

第2回定例会では、熊本地震を教訓とした一般質問も多く見られました。その地震からもうすぐ4カ月が経とうとしています。その間にも被災地である熊本で豪雨災害が起きました。一日も早い復旧、復興を願っております。いよいよ、8月に入りオリンピックが始まります。熊本を勇気づけるためにも日の丸を背負った選手たちには、がんばってほしいと思います。結城市からは、クレー射撃の中山由起枝選手が出場します。日本代表として世界に挑む中山選手に、ぜひ声援をお送りください。

情報推進委員として1年が経ちました。ケーブルテレビや議会だよりを通してさらに、市民の皆様へ情報を伝わりやすいようにより一層努力をしていきたいと思っております。暑い夏本番です。皆様体調管理には充分お気をつけて健やかにお過ごしください。
(情報推進委員)

★表紙によせて

1242年より現在まで継承される結城を代表する夏祭りであり、正式には「健田須賀神社夏季大祭」と言います。お神輿が町内を巡行する神輿渡御が圧巻です。祭り中日の夜には、旧大神輿渡御、万燈神輿渡御や子供みこしパレードなどで大変賑わいます。

また、7月2日にはホテル祭りがきぬ川ふれあい広場にて開催され、ホテルが清流に住み着いてほしいという願いをこめ、約800匹の幻想的なホテルの光が広場を照らしました。